

牛久：学校周辺に見る自然

第34号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2022年1月30日発行

< 秋のみずべ公園 樹木 >

11/4、ひたち野うしく小みずべ公園、秋の生き物^{かんさつ}観察、今回は樹木^{じゅもく}です。



ヤマザクラの紅葉^{こうよう}が始まっていました。



虫に食べられたのか、こんな葉^はも。



街路樹^{がいじろじゅ}のアカニシ。タネには^{つばさ}翼があります。



公園入り口のヤマハギ。紅葉^{こうよう}もきれい。



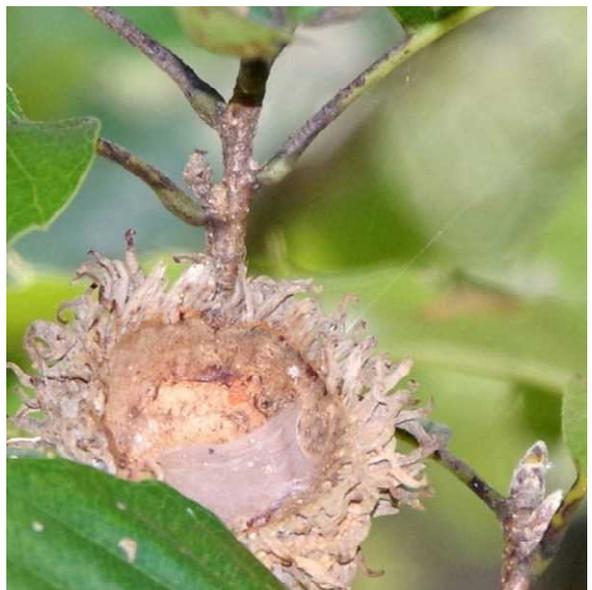
公園入り口のメタセコイア。紅葉^{こうよう}が始まり、実も黄色^{はなめ}くなってきました。そして、次の年の花芽（お花）も。



アラカシ (左) とシラカシ (右)。どちらもどんぐりのなる常緑樹 (一年中、緑の葉がついている)。



学校にも植えられている、コナラ。冬までに葉を落とす落葉樹で、どんぐりができる。



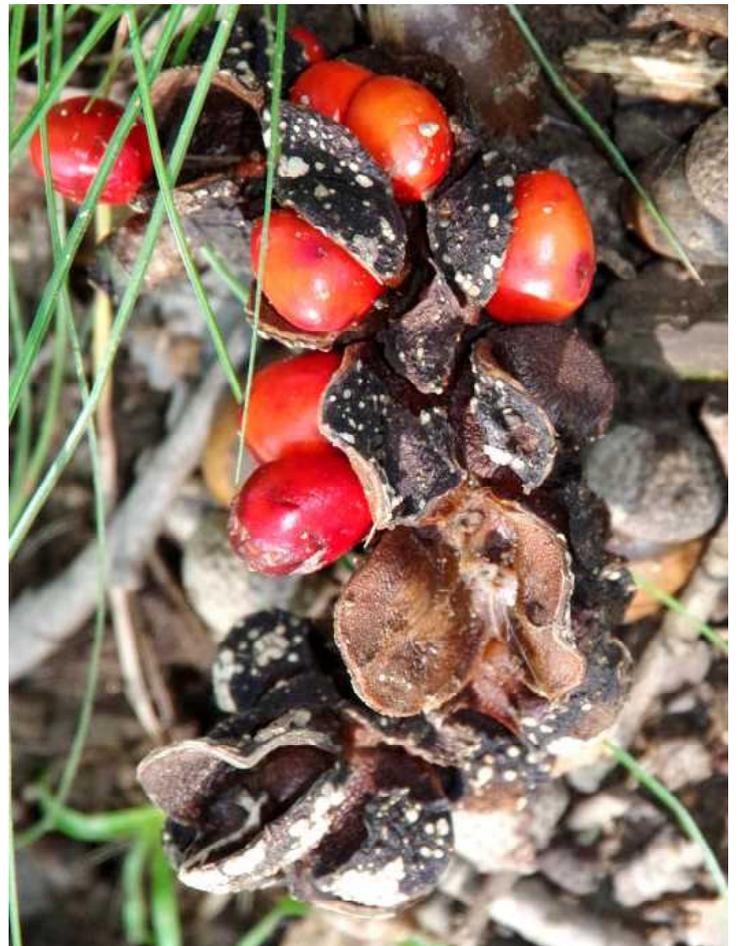
たくさん落ちていたクヌギのどんぐり (左)。はかまだけが残る上についているのが春に咲いた雌花で、これが次の年に大きくなって左の写真のようなどんぐりになる。右下についているのは冬芽で、春になると茎や葉、花が出る。



クリもたくさん落ちていた。



スギも実が大きくなっていた。古い葉は黄葉して枯れる



コブシも黄葉が始まっていた。実も熟して、下に落ちているものも。鳥が食べて、種子を運ぶ。



ヒサカキ (左) とゴンズイ (右) の果実。どちらも鳥が食べて、種子を運ぶ。



まだ残っていたアキグミ (左) とクサギ (右) の果実。どちらも鳥が食べて、種子を運ぶ。



ネムノキの果実 (左) と下に落ちていた果実 (右)。



風で運ばれるイヌシデ (左) とアカシデ (中) の果実。季節はずれに咲くヤマザクラ (右)。

【理科支援員：宮内】